

労働市場の概要（平成29年7月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成29年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.82倍となり、前月に比べ0.02ポイント増加。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は0.8%増加し、有効求職者数(季節調整値)は0.4%減少した。また、新規求人数(季節調整値)は3.4%減少し、新規求職者数(季節調整値)は0.2%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、宿泊業・飲食サービス業(27.7%減)、サービス業(他に分類されないもの)(0.9%減)で減少したものの、建設業(0.2%増)、製造業(16.5%増)、運輸業・郵便業(18.9%増)、卸売・小売業(0.9%増)、医療・福祉(8.6%増)で増加したことから、全体でも対前年同月比3.7%増と3ヶ月連続で増加した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で1.1%減と4ヶ月連続で減少した。

有効求人倍率(季節調整値)は、1.82倍となり、2ヵ月連続で1.8倍台となった。
県内の雇用情勢は改善が進んでいる。

1 有効求人倍率(季節調整値)

7月の有効求人倍率は1.82倍となり、前月に比べ0.02ポイント上昇。

(1)有効求人(パートを含む)

○ 7月の有効求人は51,340人で、対前年同月比(原数値比較)で7.0%増加し、対前月比(季節調整値比較)では0.8%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で23ヶ月連続の増加となった。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 7月の有効求職は29,502人で、対前年同月比(原数値比較)で3.0%減少し、対前月比(季節調整値比較)では0.4%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で4ヶ月連続の減少となった。

(3)7月の正社員の有効求人倍率は1.22倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

7月の新規求人倍率は2.56倍となり、前月に比べ0.09ポイント低下。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 7月の新規求人は18,419人で、対前年同月比(原数値比較)で3.7%増加し、対前月比(季節調整値比較)では3.4%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で3ヶ月連続の増加となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業	0.2%の増加	(2ヶ月ぶりの増加)
製造業	16.5%の増加	(9ヶ月連続の増加)
運輸業・郵便業	18.9%の増加	(9ヶ月連続の増加)
卸売・小売業	0.9%の増加	(3ヶ月連続の増加)
宿泊業・飲食サービス業	27.7%の減少	(2ヶ月ぶりの減少)
医療・福祉	8.6%の増加	(15ヶ月連続の増加)
サービス業 (他に分類されないもの)	0.9%の減少	(2ヶ月ぶりの減少)

(2)新規求職(パートを含む)

○ 7月の新規求職は6,687人で、対前年同月比(原数値比較)で1.1%減少し、対前月比(季節調整値比較)では1.1%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は4ヶ月連続の減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は594,927人で、対前年同月比3.3%の増加となり、91ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は6,422人で、対前年同月比5.8%の減少となり、受給率は1.1%となった。